

# 知っていますか？ガソリンスタンドは安全です。

## 安全な理由その①

平成7年に起きた阪神・淡路大震災で、まわりの建物が倒れたり火災が起きたりする中、多くのガソリンスタンドが、火が燃え広がるのをくい止める役割をして、ガソリンスタンドの高い安全性が注目を集めました。そして、街を再び建て直すときには、活動の中心地の一つとなり、大きな役割を果たしました。



## 安全な理由その②

ガソリンスタンドの建物は、火に強い造りになっているか、燃えない材料でつくらなければならないことが決められています。また、地震にも強い建物になっています。

## 安全な理由その③

ガソリンスタンドは、ふだんから、「ガソリンも売っているが、安全も売っている」という気持ちで毎日の営業を続けるとともに、災害が起きた時に備えています。

## 安全な理由その④

ガソリンは、地下の頑丈なタンクに貯えられています。もしも地震で地面がくずれても、タンクが壊れてガソリンが流れ出す心配はほとんどありません。

# 災害が起きた時、ガソリンスタンドはあなたを助けたい。そのとき、ガソリンスタンドは災害時サポートステーションとして支援します。

### 被災者の受け入れ

ガソリンスタンドは、建物が安全であることを生かし、災害の時に避難してきた人を受け入れて、より安全な場所へ移動するまでの避難場所となることができます。

### 被災者の誘導

ガソリンスタンドのスタッフは、避難してきた人がより安全な場所へ移動できるように、スタンドから一番近い広域避難場所（それぞれの地区で指定された避難所）までの行き方をふだんから確認し、災害に備えています。

### 災害情報を集める&連絡活動

災害が起こった時、ガソリンスタンドのスタッフは、テレビ・ラジオ・インターネットなどで災害全体の情報を集め、非難している人たちに必要な情報を伝えます。また、ガソリンスタンドの近くの被害を調べ、火災などがある場合は、消防署へ連絡します。

### 救急ステーション活動

災害や、ガソリンスタンドの近くで起きた事故などでケガをした人の手当て（応急処置）をしたり、救急隊や病院へ連絡をとったりします。手当ての方法を学べる「普通救命講習」を受けたスタッフがいるガソリンスタンドもふえています。※救急ステーション活動を行っているガソリンスタンドは、現在東京都内で1,000店以上となりました。



## 地震の心得10か条

災害時に冷静に行動していただくための「地震の心得10か条」を是非覚えてください。

### 第1条 わが身と家族の身の安全！

大きな揺れは、1分程度です。丈夫なテーブルや机などの下に身をかくし、頭を保護するようにしましょう。

### 第2条 グラツときたら火の始末！

火が出たらすばやく消火！火の始末が大きな災害を防ぎます。小さな地震でも火を消す習慣をつけましょう。

### 第3条 あわてて外に飛び出さな！

むやみに外に飛び出すのは危険です。周囲の状況をよく確かめて、落ち着いて行動しましょう。

### 第4条 戸を開けて出口の確保！

特に、コンクリート建てマンションなどは、地震の揺れでドアがゆがみ、部屋に閉じこめられることがあります。戸を開けて出口を確保しましょう。

### 第5条 戸外では頭を保護し危険なものから身をさげよ！

屋外にいるとき地震に襲われたら、ブロック塀が倒れたり窓ガラスや看板などが落ちてきます。安全な建物か近くの広い場所へ避難しましょう。

### 第6条 百貨店・劇場などでは係員の指示に従って行動を！

大勢の人が集まるところではパニックがおきる心配があります。巻き込まれないように、冷静な行動を心がけましょう。

### 第7条 自動車は左に寄せて停車規制区域では運転禁止！

勝手な行動は混乱のもと。カーラジオの情報により行動をしましょう。

### 第8条 山くずれ・がけくずれ・津波に注意！

山くずれ・がけくずれ・津波の危険地域ではすばやく避難しましょう。

### 第9条 避難は徒歩で持ち物は最小限度に！

自動車を使うと、渋滞を引き起こし、消火活動や救援救護活動の妨げになります。避難は徒歩で、荷物は必要最小限のものだけにしましょう。

### 第10条 デマで動くな！正しい情報で行動！

災害時はデマなどに惑わされやすくなります。報道機関や区市町村、消防・警察などからの情報に注意しましょう。

※東京都総務局総合防災部HPより抜粋

## 帰宅困難者10か条

帰宅困難者になってしまった時のために、「帰宅困難者10か条」を普段から心がけておきましょう。

### 第1条 あわてず騒がず、状況確認

### 第6条 事前に家族で話し合い（連絡手段、集合場所）

### 第2条 携帯ラジオをポケットに

### 第7条 安否確認、ポイスメールや遠くの親戚

### 第3条 つくっておこう帰宅地図

### 第8条 歩いて帰る訓練を

### 第4条 ロッカー開けたらスニーカー（防災グッズ）

### 第9条 季節に応じた冷暖準備（携帯カイロやタオルなど）

### 第5条 机の中にチョコやキャラメル（簡易食料）

### 第10条 声を掛け合い、助け合おう

※東京都総務局総合防災部HPより抜粋

東京都石油商業組合は、東京都と、災害時における帰宅者支援に関する協定を結んでいます。